徳島県の地震

令和５（２０２３）年９月

目　次

◎徳島県の地震活動
震央分布図・断面図　……　1
概況　……　1
徳島県で震度１以上を観測した地震の表　……　2
震度分布図　……　2

◎地震メモ
11 月２日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！　……　3～4

＊「徳島県の地震」は月 1 回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

＊本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

＊本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

＊この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000（行政界・海岸線）を使用しています。

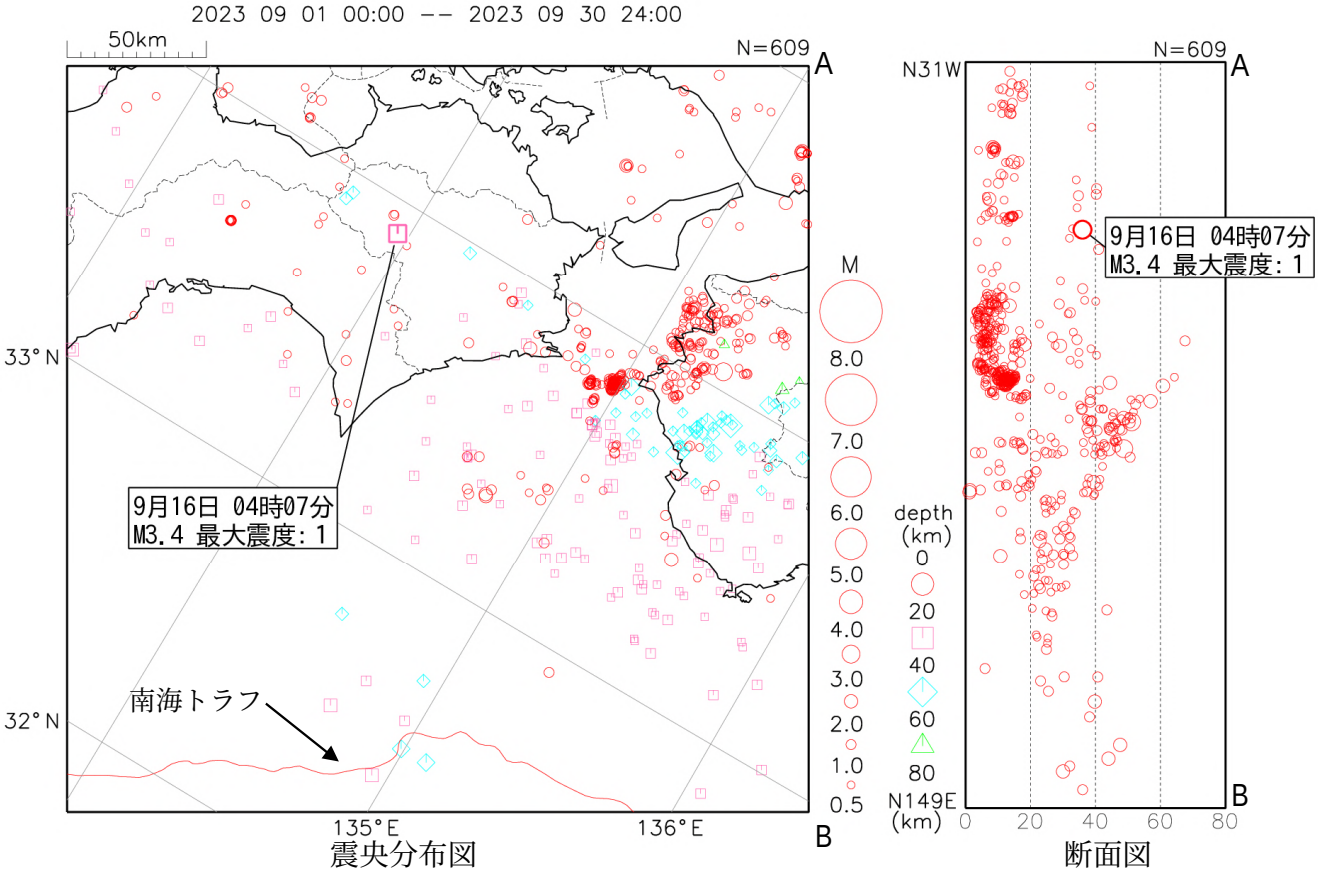
＊全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。
https://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaeq.html

＊大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html

徳 島 地 方 気 象 台
(https://www.data.jma.go.jp/tokushima/)

徳島県の地震活動

震央分布図・断面図　2023 年 9 月 1 日～2023 年 9 月 30 日



- M0.5 以上の地震を表示。
- 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさでマグニチュード（M）の大小を、シンボルの形状と色で震源の深さ（depth）（震央分布図のみ）を区分。図に表示している地震の回数（N）は震央分布図と断面図の右上に表示。
- 図中のコメントは、徳島県で震度 1 以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード（M）、最大震度（徳島県内の最大震度とは限りません）。

概況

2023 年 9 月に徳島県で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした（前月は 2 回）。

16 日 04 時 07 分 徳島県北部の地震（深さ 36km、M3.4）により、美馬市・三好市で震度 1 を観測しました。また、香川県・愛媛県・岡山県で震度 1 を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

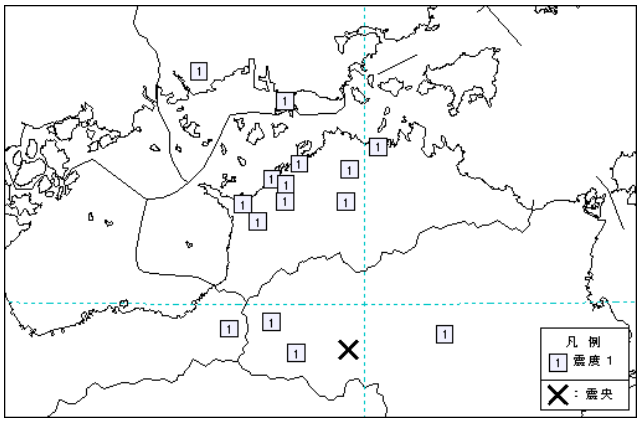
徳島県で震度１以上を観測した地震の表　　2023年9月1日～2023年9月30日

発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載）	震央地名	緯　度	経　度	深さ	ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2023年09月16日04時07分 震度　１：美馬市木屋平＊,徳島三好市山城町＊,徳島三好市西祖谷山村＊	徳島県北部	33°54.0'N	133°57.4'E	36km	M3.4

・　震源要素（緯度・経度・深さ・ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ）は暫定値。
・　地点名の後に＊がついている地点は、気象庁以外の観測点。

震度分布図（×印は震央）

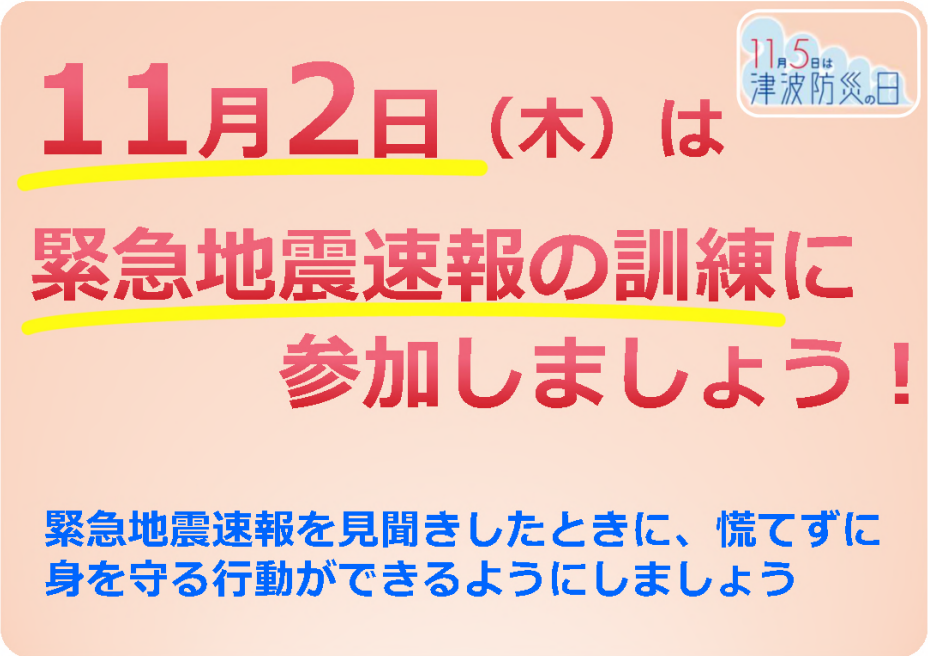
9月16日04時07分
徳島県北部の地震（深さ36km、M3.4）



観測点別震度分布図

【地震メモ】11 月 2 日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

令和 5 年 11 月 2 日(木)10 時 00 分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。



徳島県内では地上波・衛星放送テレビやコミュニティ放送以外のラジオの訓練放送はありませんが、一部のケーブルテレビ局・エフエムびざんで訓練放送があります。また、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールによる訓練配信はありませんが、兵庫県で緊急速報メールでの訓練配信があるため、徳島県内でも受信することがあります。

また、11 月 5 日(日)09 時 30 分頃に鳴門市の防災訓練において、鳴門市周辺で緊急速報メールの訓練配信が予定されています。

気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合がありますので、ご了承ください。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。 https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/2023/02/kunren.html

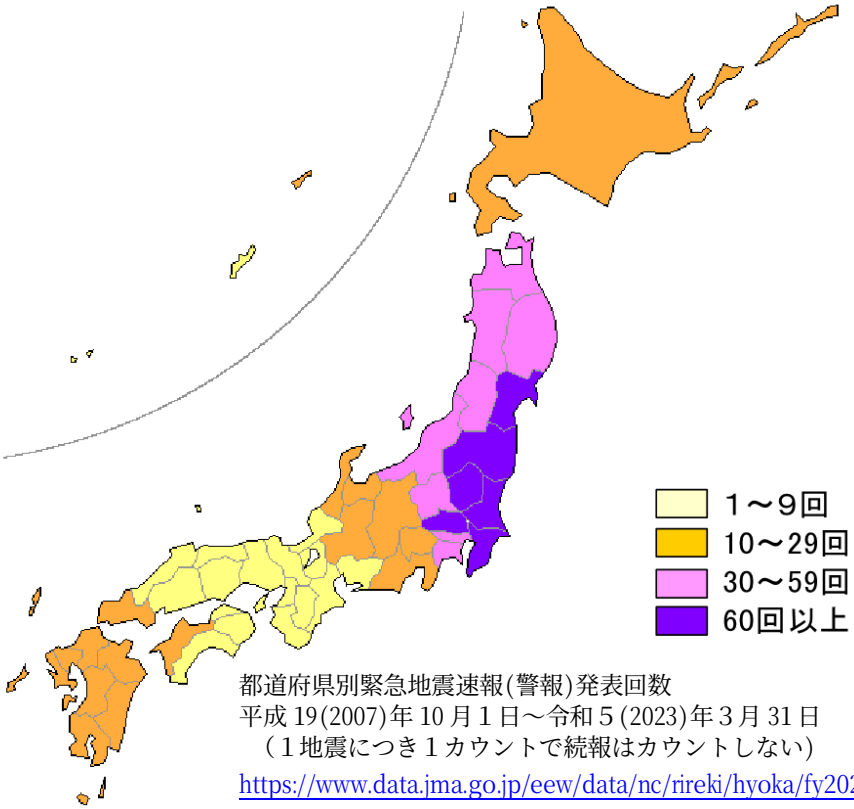
訓練で緊急地震速報のチャイム音を聞いたら、ただちに机の下にもぐる等の身の安全を守る行動をとり、避難場所への移動訓練を行いましょう。

気象庁津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」より
https://www.youtube.com/watch?v=3p7xwJq429w

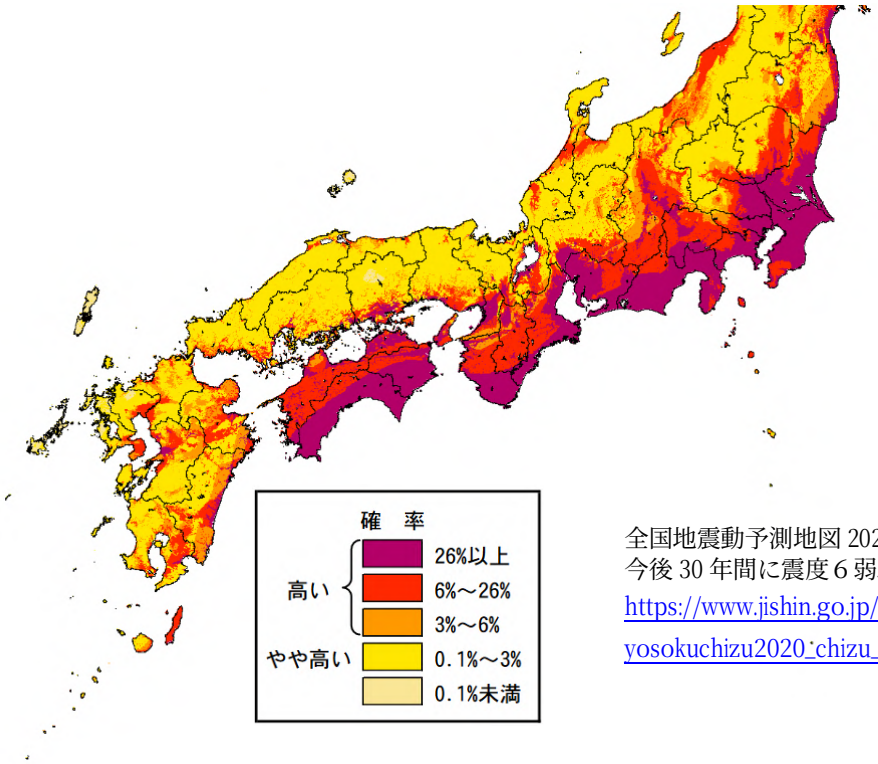
○緊急地震速報の発表状況

下の図と表に示すのは、気象庁が平成 19(2007)年 10 月 1 日から令和 5 (2023)年 3 月 31 日までに発表した緊急地震速報(警報)の都道府県別発表回数です(１地震につき１カウント)。東北地方太平洋沖地震後の地震活動のため東日本で発表回数が多く、西日本でも熊本地震後の地震活動により九州はやや多めです。徳島県の発表回数は４回で兵庫県と並んで最も少なくなっています。しかし徳島県は今後 30 年間に震度６弱以上の地震にあう確率が高く、地震への備えが必要です。

北海道	26	滋賀県	6
青森県	32	京都府	5
岩手県	54	大阪府	5
宮城県	63	兵庫県	4
秋田県	32	奈良県	5
山形県	46	和歌山県	7
福島県	100	鳥取県	5
茨城県	106	島根県	8
栃木県	62	岡山県	5
群馬県	43	広島県	9
埼玉県	67	山口県	11
千葉県	66	**徳島県**	**4**
東京都	46	香川県	8
神奈川県	50	愛媛県	13
新潟県	48	高知県	7
富山県	14	福岡県	21
石川県	20	佐賀県	10
福井県	6	長崎県	14
山梨県	16	熊本県	26
長野県	30	大分県	17
岐阜県	13	宮崎県	20
静岡県	12	鹿児島県	20
愛知県	5	沖縄県	9
三重県	7		



都道府県別緊急地震速報(警報)発表回数
平成 19(2007)年 10 月 1 日～令和 5 (2023)年 3 月 31 日
（１地震につき１カウントで続報はカウントしない）
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/rireki/hyoka/fy2022.pdf



全国地震動予測地図 2020 年版
今後 30 年間に震度６弱以上の揺れに見舞われる確率
https://www.jishin.go.jp/main/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_10.pdf